



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <https://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	7,159	8.1	753	△4.3	757	△4.4	479	△6.9
2018年12月期第3四半期	6,623	12.6	787	20.1	792	20.4	515	21.3

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 498百万円 (△7.7%) 2018年12月期第3四半期 539百万円 (22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	16.38	—
2018年12月期第3四半期	17.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	6,804	4,927	69.0
2018年12月期	6,861	4,712	65.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 4,692百万円 2018年12月期 4,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,930	8.1	1,320	7.0	1,320	6.4	840	5.4	28.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	30,955,000株	2018年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,702,000株	2018年12月期	1,622,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	29,303,106株	2018年12月期3Q	29,322,023株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（2019年12月期第3四半期：152,000株、2018年12月期：72,800株、2018年12月期第3四半期：72,900株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	7,159百万円 (前年同期比8.1%増)
営業利益	753百万円 (同4.3%減)
経常利益	757百万円 (同4.4%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	479百万円 (同6.9%減)

となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかな景気の回復傾向が継続しており、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって着実に改善が見られております。一方で、米中の貿易問題に端を発した中国経済の減速等、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動等の影響により先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社は2018年1月に「ソフトブレン 中期経営計画2018-2020」を策定、安定的・継続的な高成長に向けた基盤構築のための準備期間と位置づけ、フローからストックへの収益モデルの転換を目指しております。

1. 営業イノベーション事業

当事業におきましては、営業面では引き続きセミナー開催等を通じて新規顧客の開拓を推進するとともに、既存顧客への更なる利用促進のために、従来の活用支援サービスに加え、集合型ユーザー研修を強化いたしました。また、開発面では主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の使い勝手の良さを追求した開発やセルフサーブ型「eセールスマネージャーRemix MS」の開発に引き続き取り組みました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売がクラウド型を中心に堅調に推移いたしました結果、売上高は3,707百万円(前年同期比10.1%増)となりました。一方、利益面に関しましては、成長に向けての開発や人件費等の先行費用の増加等により、セグメント利益は498百万円(同4.5%減)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大手消費財メーカーを中心に継続的な営業活動によりニーズの把握、案件発掘、新規提案を積極的に行うとともに、業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」のコンセプトの下、新たな市場開拓に向けた取り組みを進めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである定期フィールドビジネスや人材派遣ビジネスが引き続き堅調に推移したこと等により売上が伸びました結果、売上高は3,023百万円(同10.1%増)、セグメント利益は278百万円(同16.9%増)となりました。

3. システム開発事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、一部大型案件の取引規模縮小の影響により減収となりました。費用面では、プロジェクト管理の徹底による収益性改善の見直しを図る等コスト抑制にも取り組んだ結果、売上高は290百万円(同5.0%減)、セグメント利益は7百万円(同27.5%減)となりました。

4. 出版事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上面では書籍販売の減少を背景に減収となりました。費用面では、コストの抑制に取り組んだものの減収幅をカバーするに至らず、売上高は138百万円(同32.4%減)、セグメント損失は31百万円(前年同期は15百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産 6,804百万円 (前連結会計年度末比 0.8%減)

負 債 1,876百万円 (前連結会計年度末比 12.7%減)

純資産 4,927百万円 (前連結会計年度末比 4.6%増)

となりました。当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、6,804百万円となりました。その主たる要因は、差入保証金が135百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が196百万円減少したことによるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ273百万円減少し、1,876百万円となりました。その主たる要因は、未払法人税等が241百万円減少したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ215百万円増加し、4,927百万円となりました。その主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上479百万円、剰余金配当による235百万円の減少によるものです。自己資本比率は、69.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2019年1月30日に公表いたしました2019年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,010,159	4,006,351
受取手形及び売掛金	1,702,662	1,505,814
商品及び製品	65,728	50,065
仕掛品	65,917	107,996
その他	161,270	131,105
貸倒引当金	△17,776	△15,083
流動資産合計	5,987,962	5,786,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,064	94,064
減価償却累計額	△42,664	△65,843
建物及び構築物(純額)	51,400	28,221
工具、器具及び備品	316,181	330,353
減価償却累計額	△243,244	△264,298
工具、器具及び備品(純額)	72,937	66,054
有形固定資産合計	124,338	94,276
無形固定資産		
ソフトウェア	525,608	576,929
その他	915	915
無形固定資産合計	526,523	577,845
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	134,853	270,572
長期滞留債権	40,840	40,840
繰延税金資産	82,798	70,071
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△40,840	△40,840
投資その他の資産合計	223,152	346,144
固定資産合計	874,014	1,018,266
資産合計	6,861,977	6,804,515

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,113	370,324
未払金	419,592	397,368
未払役員賞与	49,505	—
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	42,000
未払法人税等	284,064	42,793
前受金	548,758	628,716
賞与引当金	64,267	71,973
役員賞与引当金	—	23,600
返品調整引当金	11,461	9,248
その他	243,584	164,566
流動負債合計	2,101,347	1,850,591
固定負債		
長期借入金	28,000	—
株式給付引当金	7,360	15,176
その他	12,935	10,865
固定負債合計	48,295	26,041
負債合計	2,149,642	1,876,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	3,541,844	3,786,454
自己株式	△249,503	△287,571
株主資本合計	4,486,200	4,692,743
非支配株主持分	226,134	235,138
純資産合計	4,712,334	4,927,882
負債純資産合計	6,861,977	6,804,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,623,073	7,159,432
売上原価	4,229,331	4,664,089
売上総利益	2,393,742	2,495,342
販売費及び一般管理費	1,606,675	1,742,329
営業利益	787,066	753,013
営業外収益		
受取利息	136	324
助成金収入	3,245	1,490
受取返戻金	—	1,050
為替差益	961	1,043
保険解約返戻金	347	—
雑収入	1,429	1,657
営業外収益合計	6,120	5,564
営業外費用		
支払利息	719	895
貸倒引当金繰入額	190	—
その他	0	39
営業外費用合計	909	935
経常利益	792,277	757,643
特別損失		
リース解約損	5,690	70
固定資産除却損	—	1,679
特別損失合計	5,690	1,749
税金等調整前四半期純利益	786,586	755,893
法人税、住民税及び事業税	247,635	244,654
法人税等調整額	△899	12,726
法人税等合計	246,735	257,381
四半期純利益	539,850	498,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,177	18,661
親会社株主に帰属する四半期純利益	515,673	479,850

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	539,850	498,512
四半期包括利益	539,850	498,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,673	479,850
非支配株主に係る四半期包括利益	24,177	18,661

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,367,477	2,745,818	305,384	204,393	6,623,073	—	6,623,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,495	1,440	25,495	6,804	53,235	△53,235	—
計	3,386,973	2,747,258	330,879	211,197	6,676,309	△53,235	6,623,073
セグメント利益	522,385	237,915	10,893	15,814	787,009	57	787,066

(注)1. セグメント利益の調整額57千円には、固定資産の調整額195千円、棚卸資産の調整額△138千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,707,713	3,023,354	290,120	138,244	7,159,432	—	7,159,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,540	2,117	26,233	763	53,654	△53,654	—
計	3,732,254	3,025,471	316,354	139,007	7,213,087	△53,654	7,159,432
セグメント利益又は 損失(△)	498,872	278,165	7,901	△31,904	753,034	△20	753,013

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△20千円には、棚卸資産の調整額△20千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。